

令和7年度 共通評価項目（6. サービス提供のプロセス） 児童自立支援施設

1 サービス情報の提供

1 子どもや保護者等に対してサービスの情報を提供している

- 1 子どもや保護者の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている
- 2 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している
- 3 子どもや保護者の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している

2 サービスの開始・終了時の対応

1 サービスの開始にあたり子どもや保護者に説明し、理解を得るようにしている

- 1 サービスの開始にあたり、施設の基本的ルール（約束ごと）、権利擁護の取り組みをはじめとした重要な事項等を子どもや保護者の状況に応じて説明している
- 2 サービス内容について、子どもや保護者の理解を得るようにしている
- 3 サービスに関する説明の際に、子どもや保護者の意向を確認し、記録化している

2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている

- 1 サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している
- 2 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように支援を行っている
- 3 入所以前の生活習慣等をふまえた支援を行っている
- 4 サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、退所後の支援の継続性にも配慮している

3 個別状況に応じた計画策定・記録

1 定められた手順に従ってアセスメントを行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している

- 1 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している
- 2 子ども一人ひとりのニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している
- 3 アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている

2 子どもや保護者の希望と関係者の意見を取り入れた自立支援計画を作成している

- 1 計画は、子どもの最善の利益を第一に、子どもや保護者の希望を適切に反映して作成、見直しをしている
- 2 計画を子どもにわかりやすく説明し、同意を得るようにしている
- 3 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直すとともに、緊急に支援内容を変更する必要がある場合の対応や計画変更のしくみを整備している

3 子どもに関する記録を適切に作成する体制を確立している

- 1 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある
- 2 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している

4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している

- 1 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している
- 2 子どもに変化があった場合の情報について、職員間で申し送り・引継ぎ等を行っている

4 サービスの実施

1 個別の自立支援計画に基づいて、自立した生活が営めるよう支援を行っている

- 1 個別の自立支援計画に基づいて支援を行っている
- 2 子どもの自己肯定感を高め、職員との信頼関係を築くために、子ども一人ひとりに合った方法で、受容的・支持的な関わりをしている
- 3 退所後の安定した生活基盤の確保に向け、関係機関と連携をとって、リービングケア（退所後の生活を見越した支援）を行っている
- 4 子ども一人ひとりの状況や意向に応じた退所後の支援を関係機関と連携して行っている

2 子どもの自立に向けて、さまざまな日常生活上の支援を行っている

- 1 子どものコミュニケーション力（人間関係構築力）が向上するよう支援を行っている
- 2 基本的な生活習慣を確立するとともに、社会常識、社会規範及び生活知識・技術（家事、社会生活上のルール等）を身につけられるよう支援を行っている
- 3 行事やスポーツ・文化活動を通じて、子どもの心身を育成し、達成感、協調性、責任感、忍耐力等を養えるよう支援を行っている
- 4 子どもの状況に応じて、経済観念を身につけられるよう、金銭の管理や使い方について支援を行っている
- 5 子どもが地域と交流できる機会を大切にしている

3 子ども一人ひとりに応じた学力向上・進路決定のための取り組みを行っている

- 1 学習環境を整備し、基礎学力の向上・学習習慣獲得のために、学校と連携をとって、支援を行っている
- 2 社会性や職業観を身につけられるよう、作業活動、職場見学等の支援を行っている
- 3 多様な選択肢を提示したうえで、子どもの最善の利益にかなった進路の自己決定ができるよう支援している
- 4 個別に必要な時期に、自立に向けての社会経験を積めるよう支援している

4 子どもが楽しく安心して食事ができるようにしている

- 1 楽しい食事となるような環境を整えている
- 2 食事の献立は、子どもの状況（食物アレルギーや疾患等に関する主治医等の指示を含む）や嗜好に応じて工夫している
- 3 食習慣の確立や食についての関心向上のため、関係職員と連携して食育の推進に取り組んでいる

5 子どもの健康を維持するための支援を行っている

- 1 入所まもない子どもの健康状態(口腔ケア、視力等)に配慮し、健康維持のための支援を行っている
- 2 健康に関して、子どもに理解を促す取り組みを行うとともに、子どもからの相談に応じ、必要に応じて子どもや保護者等に説明をしている
- 3 子どもの服薬管理は誤りがないようチェック体制の強化などのしきみを整えている
- 4 医療機関と連携しながら、日頃の健康管理を行い、子どもの体調に変化があったときには、速やかに対応できる体制を整えている

6 子どもの精神面でのケアについてさまざまな取り組みを行っている

- 1 子どもが悩みや不安を相談できるように工夫している
- 2 子どもの課題に応じて、心理的ケアが必要な場合は、関係職員・機関と連携をとって、支援を行っている
- 3 性についての正しい知識と理解が得られるよう、子どもの状況に応じた説明を行っている
- 4 子どもが自分の課題に向き合えるよう、個別の状況に応じた支援を行っている
- 5 施設での生活における子どもの行動上の問題について、関係のある子どもも含めて対応している

7 子どもの主体性を尊重し、施設での生活が快適になるよう支援を行っている

- 1 居室等施設全体が、子どもにとって安心、安全で快適な居場所となるよう、子どもの年齢や状況に応じて配慮したものとなっている
- 2 日常生活や余暇の過ごし方は、子どもが主体的に考え、営むことができるよう支援している
- 3 行事やイベントの企画、運営等に子どもも関わっている
- 4 日常生活において、子どもが自主性を発揮できるよう支援を行っている
- 5 子どもが季節等に合った清潔な衣服を身に付けられるよう支援している

8 家族等との関係構築に向けた取り組みを行っている

- 1 家庭支援専門相談員を中心に、家族等との関係構築のための支援方針が明確にされ施設全体で共有されている
- 2 保護者等との面会、外出、外泊等は、状況を把握したうえで、子どもの安全に注意しながら行っている
- 3 子どもの最善の利益を第一に子どもや保護者等の意向を確認しながら、関係機関と連携をとって、子どもと家族の関係調整に取り組んでいる
- 4 養育家庭や養子縁組等の制度が有効に活用されるよう児童相談所と連携をとっている
- 5 入所中の子どもの家族等に対し、退所後の生活を想定したさまざまな支援を行っている

5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重

1 子どものプライバシー保護を徹底している

- 1 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、子どもや保護者の同意を得るようにしている
- 2 個人の所有物や郵便物の扱い、居室への職員の出入り等、日常の支援の中で、子どものプライバシーに配慮した支援を行っている
- 3 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている

2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している

- 1 「子どもの権利ノート」などにより、子どもの基本的な人権について、日常生活の中でわかりやすく説明している
- 2 子どもが意見を表明しやすい環境をつくるなど、子どもの権利が守られるように取り組んでいる
- 3 子ども一人ひとりの価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている
- 4 施設内の子ども間の暴力、いじめ等が行われないよう組織的に予防・再発防止策を徹底している
- 5 子どもの安全の確保等のため、行動に一定の制限を行う必要がある場合は、最善の利益になる場合のみ適切に実施し、職員間で定期的に検証・検討を行っている

6 事業所業務の標準化

1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている

- 1 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている
- 2 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうかを定期的に点検・見直しをしている
- 3 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している

2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

- 1 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている
- 2 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や子ども・保護者等からの意見や提案を反映するようにしている